

全国空手道選手権大会で優勝した五十嵐達郎さんが市長を訪問しました



優勝を報告した五十嵐達郎さん(左)と行田市長

9月25日、長野在住の五十嵐達郎さんが内閣総理大臣杯第67回全国空手道選手権大会個人組手で優勝し、その報告のため市役所を訪問しました。行田市長から、「今後も空手道に精進し、ご活躍することを願っています」と激励の言葉がありました。

▶問い合わせ スポーツ振興課 ☎ 556—8336

行田羽生資源環境組合ごみ処理施設建設工事起工式が行われました



建設工事起工式の様子

9月20日、本市と羽生市で構成する行田羽生資源環境組合のごみ処理施設本体の建築工事に先立ち「行田羽生資源環境組合ごみ処理施設建設工事起工式」が行われました。

当日は、管理者(行田市長)および副管理者(羽生市長)の他、組合議会議員をはじめとする組合関係者、工事関係事業者が参列し、工事の安全などを祈願しました。

▶問い合わせ 行田羽生資源環境組合 ☎ 577—8106

さまざまな課題の解決に向けて公民連携を推進しています

「公民連携」とは、人口減少や厳しい財政状況などを受け、行政課題の解決や地方公共団体が行うべき事業を民間事業者と協力して実施することで、民間ならではの創意工夫やネットワーク、資金調達力などを生かして、効果的・効率的で質の高い市民サービスを提供するものです。

市では、これまで公の施設の管理・運営や協定に基づく事業など、数々の公民連携を実施してきました。公民連携事業の実施に当たっては、市で設置している公民連携総合窓口(Co-Labo Gyoda)を活用した企業提案の受け付けや民間資金を活用した公共施設整備など幅広い手法を検討し、公民双方でメリットが生まれるよう工夫しながら、市民サービスの向上と公民連携の推進に努めていきます。

主な公民連携事業の紹介

【移動販売の実施：株式会社ウエルシア薬局】

地域の買い物支援や高齢者・障がいをお持ちの方・子どもなどの世代を超えた交流機会の創出を目的とした移動販売を実施しており、食品、日用品、冷蔵・冷凍食品、化粧品など約500品目を販売しています。

移動販売は、月～金曜日の午前10時から午後4時ごろまで実施しており、各日10カ所程度、1週間で市内46カ所を回っています。(土、日曜日は休業)



【シェアサイクル事業の実施：株式会社ゴトー】

市内10カ所の公共施設および2カ所の民間施設にシェアサイクルポートを設置しています。このシェアサイクルは、スマートフォンのアプリで利用申し込みと支払いが可能で、どなたでも手軽に利用できます。

また、同社では隣接する熊谷市においてもシェアサイクルサービスを提供しており、相互の乗り入れも可能であることから、市民のみならず本市を訪れる方の利便性の向上にも役立っています。

【空き家の利活用に向けた取り組みの実施：株式会社エンドユーザー】

空き家の適切な管理と利活用を促進するため、「空き家活用セミナー」を実施しています。また、リフォームのプラットフォームを用いて、空き家所有者と職人を直接繋ぐことで、より効率的でコストを抑えたリフォームを行うことができます。

この取り組みを通じて空き家のリフォームが行われた結果、市内企業の従業員用の借上住宅として活用されるなど、相談から改修、活用まで一貫した支援により、今後多くの成果が期待されます。

▶問い合わせ 企画政策課公民連携担当(内線308)



リフォーム前

リフォーム後

国が設置した「下水道管路メンテナンス技術の高度化・実用化推進会議」に行田市が委員として選出されました

令和7年1月28日に八潮市で発生した道路陥落を伴う下水道管路の破損事故、同年8月2日に本市で発生した下水道管路の調査中の死亡事故など、下水道管路の維持管理における安全対策が急務となっています。

また、本市としても、今回の事故を受けて、これまでの維持管理の手順や発注方法などを再点検するとともに、県や国へ報告し、今後の安全対策について助言などを求めています。

こうした状況を受け、国は、管路メンテナンスの高度化に資する技術の普及に向けて、各関係機関が連携して戦略を立案し、明確な役割分担の下で環境整備に取り組むための協議の場として、「下水道管路メンテナンス技術の高度化・実用化推進会議」を10月に設置しました。

この会議の委員は、学識者や東京都、県、市、業界団体で構成されており、このうち市の枠では、政令指

定都市や中核市以外で唯一、本市が委員として選出されました。

こうした事故防止のための環境整備の検討段階から直接参加できるという貴重な機会を有効に活用し、下水道管路の維持管理における安全対策に努めていきます。



10月8日の会議の様子

下水道管路メンテナンス技術の高度化・実用化推進会議委員(令和7年10月時点)

	氏 名	役 職
委員長	加藤裕之	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻特任准教授
委員	小野 潔	秋田県建設部長
委員	北田健夫	埼玉県下水道事業管理者
委員	川上直之	東京都下水道局計画調整部技術開発担当部長
委員	秋葉雅章	愛知県建設局治水防災対策監
委員	秋山 啓	札幌市下水道河川局事業推進部管路担当部長
委員	井深 清	横浜市下水道河川局下水道管路部長
委員	根門晋治	名古屋市上下水道局管路部長
委員	谷田 聡	京都市上下水道局下水道部長
委員	宮崎博明	大阪市建設局下水道部長

▶問い合わせ 下水道課 ☎ 564—0303

	氏 名	役 職
委員	藤井良和	福岡市道路下水道局総務部長
委員	高橋栄一	行田市都市整備部長
委員	河西 勉	横須賀市上下水道局技術部長
委員	稲垣裕亮	公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会会長
委員	深谷 渉	公益社団法人日本下水道管理業協会技術顧問
委員	永長大典	公益社団法人日本下水道協会技術部長
委員	細谷祐之	一般社団法人日本管更生技術協会理事
委員	友部秀久	一般社団法人日本管路更生工法品質確保協会事務局長
委員	大森由明	一般社団法人日本下水道光ファイバー技術協会常務理事

明治安田生命保険相互会社から寄付金が寄贈されました

10月6日、明治安田生命保険相互会社から「地元の元気応援寄付」として1,033,900円の寄付をいただきました。

この寄付は、明治安田生命グループが実施する「私の地元応援募金」として会社と関係のある各団体に寄付を行い、より豊かな地域社会づくりを応援することを目的としています。

いただいた寄付金は、健康増進事業に活用させていただきます。

▶問い合わせ 健康課(内線362)



瀧野瀬埼玉本部長(左)、青木熊谷支社長(中央)と行田市長